



Newspaper in Education



設置された衣類・革製品の拠点回収ボックス。3 R 推進に期待が掛かる  
—富士宮市役所駐車場

富士宮市は4月から、市内17カ所の公共施設で、衣類と革製品の拠点回収事業をスタートする。このうち10カ所は県内市町村初の3 R (再資源化、再利用、リデュース) (廃棄物の発生抑制)、リデュース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3 R を推進する。

## 衣類回収“休みなし” 富士宮市が再利用推進 県内初運用

市役所や公民館の屋外駐車場などに設置された回収ボックスで、不用になった衣服や靴、カバン、ぬいぐるみなどの投かんを受け付ける。一部で1日から先行回収を始めた。集めた物資は回収業者に1キロ当たり2円で売渡す、主にアジアやアフリカ諸国で有効活用される。年間180トンの回収を想定し、収入は市の一般財源とする。

市生活環境課によると、市の2011年度の可燃ごみ量は約4万ト。このうち衣類・革製品は約2千トに上った。回収事業は可燃ごみの減量をほしめ、ごみ処理施設の長寿命化や二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量削減にも貢献できるとしている。回収ボックスは業者が設置費を負担するが、市にとって“ゼロ予算”の事業になる。須藤秀忠市長は「365日24時間態勢は全国的にも例がなく、3 R の先進事業になる」と意欲的だ。

2013年3月5日  
朝刊 県総版

① 「3 R」とは何ですか。

[ ]  
[ ]  
[ ]

② 富士宮市の場合、2011年度の可燃ごみの中で、衣類・革製品は何トンありましたか。

[ ] トン

③ 回収する品物は何ですか。記事から4個書きましょう。

[ ]  
[ ]  
[ ]  
[ ]

④ ( ) にあてはまることばを書きましょう。

集めた物資は回収業者に1キロ当たり( )円で売り渡し、主に( )や( )で有効活用される。

年 組 名前

(小学校中学年以上 社会、家庭科、総合)